



広報

たしろ

No 505

平成7年

10月号

平成7年10月12日発行

田代町役場企画管財課編集

肝属郡田代町麓827番地1



“秋の味覚”

「日本一早い田代柿」

(詳しくは、関連記事9ページ)



南園 秀吉さん

山下 88歳



橋口 イマさん

橋ノ口 92歳



右田 フサさん

橋ノ口 94歳



福元 フミさん

橋ノ口 90歳



古里 カメギクさん

表木 94歳



水佐貫 叶治さん

表木 89歳



岩下 スミさん

山下 91歳



湯ノ谷 義雄さん

山下 88歳



田尻 貞光さん

新田 90歳



中島 喜之十さん

新田 91歳



釘田 ヒデさん

新田 95歳



中島 テルさん

山ノ口 88歳



坂元 マキさん

中尾 95歳



山野 三藏さん

中尾 90歳



横原 マツさん

中尾 89歳



池田 フジエさん

内ノ牧 88歳



萩田 義雄さん

平石 88歳



大山 モヨさん

鵜戸野 89歳



町 清之進さん

盤山 89歳



皆錢 ナンゲサさん

東大原 91歳



永山 義盛さん

南松園 98歳



谷川 カネマツさん

南松園 98歳

本町最高

長寿者

お年寄り

八十八歳以上の

六十五人慰問

長年社会の為に貢献された高齢者の長寿をお祝い申し上げるため本年も75歳以上の高齢者の方に敬老年金を支給しました。今年75歳以上の高齢者は、四百九十六人で昨年より15人増えています。尚、75歳から87歳の高齢者は、男百四十三人、女二百八十八人計四百三十一人、88歳以上は男21人、女44人計65人でした。その中で、最高齢者は南松園に入園している永山義盛さん、谷川カネマツさんの98歳となっています。又、今年の88歳以上の高



隈元 ミチ子さん

下 89歳



平岡 トキさん

下 93歳



小牧 純男さん

馬場 89歳



小牧 サミさん

馬場 88歳



小牧 フミさん

馬場 92歳



隈元 タカさん

下 91歳



宮原 イトエさん

西中郡 89歳



隈崎 ヌイ子さん

西中郡 91歳



小倉 スマさん

東中郡 93歳



山下 盛茂さん

東ノ原 91歳

九月十五日 敬老の日
おじいちゃんおばあちゃん
いつまでも元気で
長生きして下さい。



横山 チヨさん

南松園 90歳



邊志切 フジさん

南松園 90歳



柳田 ハツさん

南松園 90歳



倉元 子イさん

南松園 90歳



毛下 清文さん

南松園 91歳



折小野 フデさん

南松園 91歳



折小野 キヨさん

南松園 91歳



中園 クサさん

南松園 91歳



宮原 キクノさん

南松園 93歳



平原 ハツギクさん

南松園 93歳



池水 チヨゲサさん

南松園 92歳



山口 フイさん

南松園 91歳

現在の教育委員

・津曲 實雄(教育長)
・林正美(柴立)
・横原 利己(中尾)
・小梅 三千代(橋ノ口)
・倉元 幸一郎(中村)



退任委員

川前 嘉秋さん



新任委員

倉元 幸一郎さん

田代町教育委員改選について

前職者の任期満了に伴い、教育委員の改選が行われました。退任された川前嘉秋さんは、三十八年七ヶ月(校長職十二年)の教職の後、本町教育委員会教育委員長の職を四期十六年努め、その間地区教育委員連絡協議会長職も九年間努められ、本町の教育振興に御尽力されました。本当にご苦労様でした。



上田 ナカさん

南松園 94歳



故井手口 テイさん

上原 90歳



富尾 定次さん

上柴立 89歳



木下 喜一郎さん

上柴立 90歳



前田 昌之さん

平石 90歳



鳥淵 廣さん

鳥淵 92歳



猪鹿倉 フミコさん

猪鹿倉 88歳



猪鹿倉 キクノさん

猪鹿倉 89歳



猪鹿倉 仙次郎さん

猪鹿倉 95歳



舞原 道さん

鶴園 88歳



松崎 トラギクさん

郷ノ原 88歳



宮原 ミツさん

早瀬 91歳



鳥淵 キヨさん

鳥淵 90歳



大柄根 盛吉さん

南松園 88歳



野間川内 亀助さん

南松園 88歳



長浜 ツ子さん

鶴園 89歳



君付 ユキさん

鶴園 91歳



椎木 栄藏さん

南松園 90歳



松添 シモさん

南松園 89歳



尾ノ後 忠義さん

南松園 89歳



原 ミヒデさん

南松園 89歳

秋季畜産共進会

37頭が出陣



グラントチャンピオン賞
こまち号(神高福) 近川 正人
町長賞
ふじかね号(富金) 藤崎 操
農協長賞
はなこ号(神高福) 舞原 幸一郎

八月三十一日、川原グラ
ンドに於いて秋季畜産共進
会が開催されました。今回
は、昨年以上の出品があり、
例年になく粒ぞろいの三十
七頭で活気がありました。
尚、十二頭が町代表とし
て九月二十六日、二十七日
の郡畜産共進会に出品致し
ました。成績については次
のとおりです。

郡秋季畜産共進会
部門別成績
一部(月齢12ヶ月未満)
松崎 篤 行(辺志切)
みやひめ4号 優秀賞
二部(月齢12ヶ月〜17ヶ月)
藤崎 操(久木野)
ふじかね号 優秀賞



三部(月齢18ヶ月〜24ヶ月)
舞原 幸一郎(鶴園)
はなこ号 最優秀賞
折小野 浩一(岩崎)
ちほこ号 最優秀賞
近川 正人(辺志切)
こまち号 優秀賞
四部
(育種高等群、3頭1組)
宮園 敏和(中村)
親牛ふくえ88号
娘1ふくえ84号 優秀賞
娘2ふくえ85号
五部
(父系群、4頭1組神高福)
優秀賞
上吹越 明(表木)
みちえ号
袖山 勝八(辺志切)
さとひめ8号
松崎 篤 行(辺志切)
つぎえ3号
上原 茂樹(久木野)
さつき号
肉用牛婦人審査競技会
出場者(各町3名)
水流 洋子
舞原 二八子 第4位
近川 良子
出品者の皆さん御苦勞様で
した。来年に向けて日常管
理をよろしく願います。

「認定農業者制度」始まる

「農業だけでは食っていけない」「内外の情勢が厳しく、先行きが不安」ななか休みがとれない——近年の農業を取り巻く情勢を見ると、農業労働力の非農業部門への流出が続くとともに、農業従事者の兼業化、高齢化が著しく進行する等の深刻な事態に直面しています。特に、これまで農業労働力の主力となっていた昭和・一桁世代の農業者がリタイア(引退)の時期を迎えつつあり、これを機に急激に担い手不足が深刻化するおそれがあります。

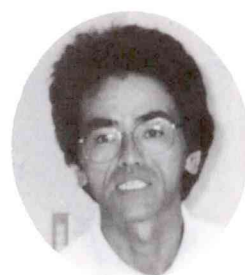
こうした中で、農業生産を維持・発展させていくためには、農業を職業として選択しうる魅力とやりがいのあるものにし、意欲と能力のあるプロの農業経営者を確保していくことが農政の重要課題となっています。そこで田代町では、農業従事者が農業以外の産業と変わらない年間労働時間で、その地域の農業以外の産業と同レベルの生涯所得を

現できるよう、21世紀に向けて農業の体質強化を図り、意欲と能力のあるプロの農業経営者を育成する「認定農業者制度(農業経営改善計画の認定制度)」をスタートさせました。

これを受けて、農業改善計画が承認された五名の方の認定書交付式がこのほど行われ、農業認定者が誕生しました。

また、「田代町農業経営改善支援センター」も同時に設置され、認定農業者等の組織づくりや活動を支援・助長していくことになりました。

「作る農業から売る農業」へ、新たな農業の創造が始まりました。



池田 豊さん



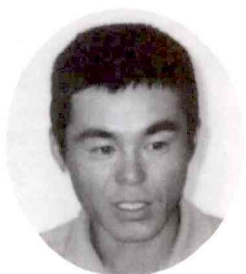
有馬 国登志さん



宮原 順一さん



山脇 福二さん



森 純一郎さん

創設のねらい

認定農業者制度は、平成五年に制定された農業経営基盤強化促進法により、それまでの農業経営規模拡大計画の認定制度を拡充し、農業者が作成する農業経営の規模拡大、生産方式・経営管理の合理化、農業従事状態の改善など農業経営の改善を図るための計画の基本構想に照らし、認定する制度として創設されたものです。

この制度は、経営感覚に優れた農業経営体をめざして、農業経営の改善を計画的に進めようとする農業者が作成した農業経営改善計画が着実に達成されるよう認定農業者を支援していく制度です。

認定農業者制度は、経営感覚に優れた効率的かつ安定的な農業経営者を育成しようとするものですが、同時に次のようなことを期待しています。

支援措置

農業経営改善計画の出した農業者認定者に対しては、現時点で次のような支援措置が用意されています。

①農用地の利用集積の支援
農地の権利移動のあっせん、農用地の出し手及び受け手の掘り起こし活動など

て、誇りと意欲を持って経営の発展に取り組むことを内外にアピールし、経営者としての自覚を高めていただくことを期待しています。

②経営の発展は、自己の経営の状況と課題を明らかにし、新たな目標を立てることから始まります。これらのプロセスを単に頭の中だけでなく、農業経営改善計画を作成し、それを実行に移していただきます。

その計画を実行に移せるかどうかは、まず第一に認定農業者の努力にかかっているわけですが、これを側面から手助けするのが様々な支援措置です。

行政相談の実施

総務庁では、十月十五日(日)から十月三十一日(土)までの一週間を「行政相談週間」と定め、全国的に各種行事が実施されます。

この行事の一環として、本町においては、行政相談委員の上久保三郎さんが、

次の日程で相談所を開設されます。

行政に関する苦情、意見、その他相談ごと等がございましたら、是非、この機会をご利用下さい。相談は無料、秘密は厳守します。

日時 十月十九日(木)
午前九時～午後五時

場所 田代町福祉センター

田代町スタンプ会杯ゲートボール大会

催されました。

この大会の上位三チームは肝属地区大会へ出場できるとあって、年々参加チームも増えていきます。

当日は、午前九時に試合が開始され、一日中高レベルの熱戦が繰り広げられました。又、昼食時間には、お楽しみ抽選会もあり、参加者全員に豪華な景品が当たっていました。

スタンプ会では、今後このゲートボール大会を町民にもっとPRし、参加チームも増して、各商店の販

田代町振興大会講師紹介

平成7年11月3日開催(田代町町民文化祭同時開催)

〈テーマと講師〉横山通代の人生ドラマ

女として、女優として、母として



よこやま みちよ
横山 通代 女優

〈講師プロフィール〉

人物・特徴

映画・テレビ・舞台に独特のキャラクターで活躍する円熟の女優。

生年・学歴

東京生まれ。東京都立桜町高校卒業。

職歴・経歴

昭和29年、NHK東京放送劇団に5期生として入団。デビューはオーディオの連続放送劇「ヤン坊ニン坊トン坊」のニン坊役で注目され、昭和31年から8年間の長きに亘りヒットする。続いてNHKテレビの人形劇「チロリン村とくるみの木」では声優として親しまれる。

近年の主な出演映画に「細雪」「おはん」「竹取物語」「女優」「鹿鳴館」「つる」など、市川崑作品を中心として個性のある役柄を演じる。最近では年齢とともに円熟味を増し、自立する中年女性の内面を巧みに表現し重きをなす。

講演活動にも取り組み、「私の子育て論」「女性として、女優として、母として」の講演は各地・各所で好評を博す。



優勝 大原Bチーム

お詫び

先月号(九月号)の七ペー
ジ五段目に誤りがありま
した。つつしんでお詫びし
て訂正いたします。

〔誤〕 岩井原 郁夫
〔正〕 石井原 郁夫

田代のカキは「日本一早い」



「日本一早い出荷」をキ
ャップフレーズにしている
本町のカキの収穫が始ま
った。

本町は、十三年前、町の
特産品化を目指しカキの栽
培を始めた。品種は「西村
わせ」で現在約十二ヘクタ
ールの栽培をしており、主
に鹿児島市場に出荷してい
る。本年は、病害も少なく、
台風にも遭わず、糖度も十
四～十七度と上々の出来で
あるようです。

「田代柿」の銘柄が確立
するよう頑張ってもらいた
いものです。

交通安全かめさんリレー

秋の全国交通安全運動に
併せ交通安全かめさんリレ
ーが実施され「交通安全は
ゆとり ゆつくり ゆずり
あい」のスローガンのもと
に、ゆとりとゆつくりで歩
くかめさんをリレーで結ん
だ。

本町におきましては、交
通死亡事故「0」三千日を
達成し、更に五千日目標
に町民一体並びに関係機
関の皆さんと交通事故防
止に各種の施策を展開して
きました。今年、六月十六
日に交通事故死亡事故が
尊い命が奪われました。

昭和六十年一月六日以来
続いた記録は、三八一三日

で途切れましたが、私たち
はこれを教訓に一瞬にして
奪う交通事故を無くし、明
るく住みよい町をつくるこ
とが私たちの願いです。
当日は、「交通安全かめ
さん」を先頭に町内一円を
巡回広報しその後、内之浦
町へ引き継ぎました。

戸籍に関する情報は

ホームページ上では

掲載していません

人口のうごき

住民基本台帳		増		減		前月 対比
		出生	転入	死亡	転出	
男	1,799	1	2	1		2
女	1,986		4	2	7	△5
計	3,785	1	6	3	7	△3
世帯数	1,422					△1

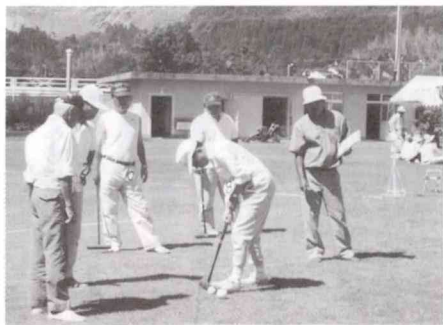
休日在宅医

月 日	当 番 医	TEL
10/15	二川内科胃腸科	2-2033
10/22	阿久根 医院	4-2100
10/29	黒木内科小児科	6-0750
11/ 3	長 浜 医 院	2-0137
11/ 5	城西胃腸科外科	4-2977

田代町社会福祉協議会
「篤志寄附金」
さきにご逝去されました方
のご遺族より、香典返しを
廃止され、社会福祉協議会
へ多額の寄付を賜りまし
た。

瀬口 宗雄 様
岩崎 邦男 様

厚くお礼申し上げますと共
にご冥福をお祈りします。



売促進又町の活性化を図り
たいと加盟店一同張り切っ
ています。

試合結果は、次のとおり
です。

優勝 大原Bチーム
準優勝 大原Cチーム
三位 鶴 園チーム
この三チームは、十一月
十九日(日)大根占町で開催さ
れる肝属地区大会へ出場し
ます。

教育だより

大原中学校

①南日本花だんコンクールに参加
昨年に引き続き、今年も参加しました。少ない人数なのでなかなか花づくりはむずかしいですが、生徒と先生がいっしょになって精一杯頑張りました。9月4日に行われた一次審査では、4人の審査員の方々が雷雨の中、熱心に花の様子を見て回られました。



夏の水かけにも頑張りました。

②楽しかった夏休み
夏休みの大半は稲の取り入れにおられますが、ラジオ体操に始まる規則正しい生活と余暇を利用しての行

楽や体の鍛練など、おおいに夏を満喫しました。



夏休みの1日はラジオ体操に始まります



毎朝少しずつ公民館の庭の草取り



浜デバイ、泳いだあとのスイカの味は格別



③二学期になって

岸良海岸までの夜間歩行、ダレモシタ



親子草刈り作業、運動会の準備バッチリ



生徒会生活部の安全通行運動週間

県図画作品地区審査

7月24日に肝属地区の図画作品審査会が開催され、町の審査会で選ばれた特選27点を出品しましたが、結果は次のとおりでした。

●特選(9名)

田代小学校 別府 梓(三年)

山田義幸(五年)

郷原光隆(六年)

大原小学校 石原慎也(二年)

町 一輝(六年)

田代中学校

上吹越美幸・山田博樹・下八重 寛幸(以上三年)

●入選(18名)

田代小学校 袖山竜也(二年)

久保尚之 牧原弘弥(以上二年)

山ノ口直樹(三年) 山下明果(四年)

尾長谷祐作(五年)

大原小学校 上蘭麻衣子(二年)

野口愛(五年) 福留優太(六年)

田代中学校 栗脇成子

四位聡人 内園ひさ子

田中大作(以上一年) 宮園美幸

平口佳恵 下萩ゆかり(以上二年)

山口絵理奈 山田博樹(以上三年)

県作文地区審査

9月22日、地区の作文審査会があり、町の作文審査

会で特選になった九点が出品され、結果は次のとおりでした。

●特選(3名)

田代小学校 小鷹彩奈(二年)

大原小学校 新村ありさ(三年)

池田明日香(六年)

●入選(6名)

田代小学校 生見千尋(一年)

永野琢磨(五年)

大原小学校 中野佳美(四年)

田代中学校 水流 葵(三年)

大原中学校 吉田直子(一年)

野口沙織(二年)

町理科作品審査

9月14日、町理科作品審査会があり、結果は特選28人、入選が50人でした。

この中から、研究記録の中で選りすぐれた次の7名の作品を地区の審査会に出品しました。

田代小学校 生見千尋(一年)

長谷梨沙 西迫真美(以上四年)

大原小学校 中野佳美(四年)

那須 歩(五年)

田代中学校 平口佳恵(二年)

大原中学校 吉田直子(一年)

田代の少年剣士

大活躍！

第七回防犯少年剣道大会



喜びの入賞者(個人戦)

去る8月5日(土)、佐多町のさたでいホールで開催されました。

南隅四ヶ町の少年剣士が一堂に会し、すばらしい熱戦がくりひろげられました。その中でも、田代町選手活躍がとも目立ちました。

(主な成績)

個人戦	団体戦
男子 優勝 大原中学校	男子 優勝 大原中学校
女子 優勝 大原中学校	女子 優勝 大原中学校
男子 準優勝 田代中学校	男子 準優勝 田代中学校
女子 準優勝 田代中学校	女子 準優勝 田代中学校
男子 準優勝 大原中学校	男子 準優勝 大原中学校
女子 準優勝 大原中学校	女子 準優勝 大原中学校
男子 準優勝 大原中学校	男子 準優勝 大原中学校
女子 準優勝 大原中学校	女子 準優勝 大原中学校
男子 準優勝 大原中学校	男子 準優勝 大原中学校
女子 準優勝 大原中学校	女子 準優勝 大原中学校

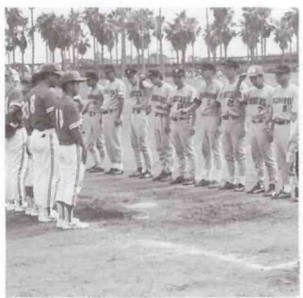
心意気を見せた、県青年大会

9/9~10

各地区大会を勝ち抜いた県下の代表が集まりました。本町からはソフトボール、陸上競技、ボーリングに計40名が参加しました。一日目は、開会式、芸能文化部門に参加しました。二日目は、いよいよスポーツ部門です。全選手が精一杯にプレーし、チームワークよく、すばらしい成績をあげました。

(主な成績)

ソフトボール 第三位
陸上競技 総合優勝
男子千五百M走 第三位 近川 隆一
女子百M走 優勝 坂口のぞみ
女子走幅跳 優勝 坂口美智代



全力を尽くしました(ソフトボール3位)

県内トップレベルの文化にふれよう

県民文化祭始まる

県民の積極的な参加により、様々な文化活動やその成果を発表し、広く交流することにより、地域の文化振興を図り、文化の香り高い地域社会の形成を目指して、平成七年度は大隅地域で県民文化祭が開催されます。(9月30日~11月30日) そのうち肝属地区では、県の主催事業として、次の4事業が実施されます。

一、オープニングフェスティバル
9月30日 19時~20時30分
鹿屋市文化会館

二、地域文化シンポジウム
10月13日 10時~15時10分
大根占町文化センター

三、音楽祭
10月28日 18時30分~20時30分
垂水市文化会館

四、秀作美術展
吾平町 9月29日~10月4日
高山町 10月6日~10月10日
大根占町

県図画作品地区審査

7月24日に肝属地区の図画作品審査会が開催され、町の審査会で選ばれた特選27点を出品しましたが、結果は次のとおりでした。

●特選(9名)

田代小学校 別府 梓(三年)

山田義幸(五年)

郷原光隆(六年)

大原小学校 石原慎也(二年)

町 一輝(六年)

田代中学校

上吹越美幸・山田博樹・下八重 寛幸(以上三年)

●入選(18名)

田代小学校 袖山竜也(二年)

久保尚之 牧原弘弥(以上二年)

山ノ口直樹(三年) 山下明果(四年)

尾長谷祐作(五年)

大原小学校 上蘭麻衣子(二年)

野口愛(五年) 福留優太(六年)

田代中学校 栗脇成子

四位聡人 内園ひさ子

田中大作(以上一年) 宮園美幸

平口佳恵 下萩ゆかり(以上二年)

山口絵理奈 山田博樹(以上三年)

県作文地区審査

9月22日、地区の作文審査会があり、町の作文審査

会で特選になった九点が出品され、結果は次のとおりでした。

●特選(3名)

田代小学校 小鷹彩奈(二年)

大原小学校 新村ありさ(三年)

池田明日香(六年)

●入選(6名)

田代小学校 生見千尋(一年)

永野琢磨(五年)

大原小学校 中野佳美(四年)

田代中学校 水流 葵(三年)

大原中学校 吉田直子(一年)

野口沙織(二年)

町理科作品審査

9月14日、町理科作品審査会があり、結果は特選28人、入選が50人でした。

この中から、研究記録の中で選りすぐれた次の7名の作品を地区の審査会に出品しました。

田代小学校 生見千尋(一年)

長谷梨沙 西迫真美(以上四年)

大原小学校 中野佳美(四年)

那須 歩(五年)

田代中学校 平口佳恵(二年)

大原中学校 吉田直子(一年)

子供たちに「ゆとり」と「体験」を

学校週五日制の月二回実施

上39才までの日本国籍をもつ方ならだれでも応募できます。

●地域社会の連携・協力(1) 学校週五日制の趣旨を理解し、あすの郷土を担う青少年の育成に取り組む。異年齢集団による縦のつながりをもった活動の充実を図る。

・特定の指導者の負担加重にならないよう、地域全体としての支援体制をとる。

・民間の施設や民間企業を含めた幅広い協力を得て、活動の充実を図る。

十月の学校週五日制関連事業詳細は教育委員会まで

10月の学校5日制関連事業

(詳細は教育委員会まで)

町中央公民館	県立大原青年の家	県立大原青年の家	県立大原青年の家	県立大原青年の家	場所
28日(土)	28日(土)	28日(土)	14日(土)	14日(土)	期日
ゲームをしよう	レクリエーション	レクリエーション	レクリエーション	レクリエーション	主な内容
152515	095782815	095782815	095782815	095782815	☎

スローピッチで和やかに

＜小組合対抗ソフトボール大会＞



さわやかな笑顔(Aクラス優勝・柴立)



「チームワークで優勝(Bクラス・上柴立)」

昨年から検討されてきたスローピッチのルールで、9月3日(日)に中央運動場をはじめ4ヶ所において激戦が展開されました。

今年の参加はAクラス15チーム、Bクラス16チーム、計31チームでしたが、新ル

ールの採用により、初心者や年配者の参加も気軽になったようです。和気あいあいの楽しい一日でした。

＜主な成績＞

優 勝	Aクラス	Bクラス
柴 立	上 原	郷ノ原
準優勝	上 原	郷ノ原
第三位	麓住宅	西中郡B

肝属地区、

県体で三位に躍進！

9月16・17日の両日、曾於地区で開催されました。わが田代町からも6つの競技に監督・選手として出場され、肝属地区代表としてベストを尽くされました。その結果、総合得点で昨年の5位から3位へと大躍進を遂げることができました。これも、監督・選手、役員はもちろん田代町をはじめとした肝属地区民全員のご声援のおかげです。誠に有難うございました。

※ 平成9年度には、肝属郡民体育大会が田代町で行われます。組織と施設の整備、選手育成等についてよろしくご協力下さい。

綱引きで豊作を祝う



幸せを引っばれ！

9/9 花瀬地区

9/10 上部地区

恒例の十五夜の綱引きが花瀬地区、上部地区で行われました。

花瀬地区では、子ども会が中心になって午前中から親子で力や引き、綱練りをしました。夕方より綱引き、すもうを行いました。母子ずもうがとても盛り上がりつつあります。

また、上部地区では、地区公民館と村づくり委員会が中心になって綱練り、土俵づくりから行いました。特に、今年から始めたすもうには、恥ずかしそうにしながらも子供たちが全員参加しました。

母校訪問、子供たちと交流

ふれあい学級

22日(金)、大原地区ふれあい学級が大原小学校で開かれました。久しぶりに母校を訪れ、授業参観やレクリエーション、会食など子供たちと交流した参加者は、とても楽しそうでした。



孫といっしょに勉強



握手ゲームで心なごむ

南日本花だんコンクール 一次審査終わる

9/4



昨年よりもきれいでした

本町では、「町に花、心に夢を咲かせよう」のスローガンのもとに、「一大家族一プランター事業」など花いっぱい運動を進め、環境美化が図られています。その成果を試す機会、南日本花だんコンクールに本町からは4小中学校が参加し(昨年は3校)、レベルも一段と向上しました。

＜審査結果＞

最優秀賞 大原小学校
優秀賞 田代小学校

なお、大原小学校は本町の代表として、9月14日に二次審査(地区審査)を受けました。